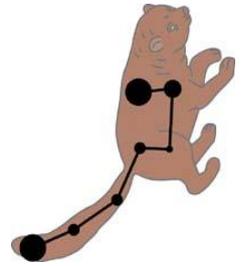


ポラリス通信



第45号 令和4年12月14日

萱田南小 5年生 家庭科(ミシン)支援を終えて

7月の家庭科（ソーイング）学習に続き、萱田南小では、11月22日に家庭科（ミシン）学習を行いました。4名のポラリスの方々にご協力いただきながら、子どもたちは楽しく学習することができました。普段はなかなか扱う機会のないミシン。わからないこと、難しいことはポラリスの方々に聞きながら、どの子も自分の作品の完成を目指して頑張りました！



（子どもたちの主な感想）

- ・今までは下糸を引き上げるのに時間がかかって全然縫えていなかったのですが、ポラリスの方に下糸を引き上げるコツを教してもらったので、たくさん縫えるようになりました。
- ・ミシンは縫うまでの工程が難しく苦戦していましたが、ポラリスの方が詳しく説明してくれました。
- ・ミシンは苦手でしたが、少し得意になったと思います。
- ・ミシンの時、糸が絡まって困っている時に助けてもらって、とても助かりました。
- ・ミシンでは、いっぱい心配なことやわからなかったことがあったのですが、ポラリスの方がわかりやすく教えてくださいました。

（ボランティアのみなさんの感想）

- ・下糸取りや足踏みミシンのタイミングに苦戦していたが、丁寧にミシンを動かして、真剣に取り組んでいた。
- ・糸が絡んでいたのを直してあげたら子どもに褒めてもらいました。褒めてもらうと嬉しいです。
- ・隣の人とコミュニケーションをとりながら、返し縫レバーを押してもらいながら頑張っていた。



（学年の先生方からコメント）

- ・困っている子にどんどん声をかけて教えてくださったので、とても助かりました。
- ・担任一人では子どもたち一人一人の要望にすぐに応えてあげられないので、作業が止まってしまう子が出てきてしまいます。そんな時、ポラリスの方々は困っている子にすぐに声をかけてくださったので、子どもたちもどんどん作業が進められて嬉しかったようです。
- ・ミシンを難しいと考えていた子も、コツを教えていただき、できるようになっていました。
- ・裁縫やミシンが楽しくなったという子が増えました。
- ・できるようになったことをたくさん褒めてもらって、自信がついたようでした。

ポラリスの皆様のお陰で、子どもたちにとって幸せな時間となりました。今後もご協力をお願いいたします。